



図書館だより



新聞の年間優秀句に選ばれました！

2-3木檜さんの俳句「まえがみと女子高校生五月雨に」が、上毛新聞掲載の2022年の年間優秀句に選ばれました！

なんと、2022年に上毛新聞に投稿された俳句は総数17万4876句！ その中から、俳人の佐藤清美先生に選んでいただいたのがたった15句…！ 驚くべき快挙です。

木檜さんに「どうやってこの句を作りましたか？」とインタビューしたところ「この作品は、天から降りてきました」と答えていました。

☆酒井先生(保健室)のオススメ本 紹介☆

「お姫様」といわれれば、誰を思い浮かべるでしょうか。私は、今は亡き、イギリスのエリザベス女王、絶世の美女として有名なクレオパトラ、そして誰もが一度はその名を耳にしたことがあるエリザベト。この3人が思い浮かびます。

「お姫様」に興味を持ったのは高校生の時です。世界史の授業が面白く、授業が終わる度に笑い泣き疲れてしまうようなそんな授業でした。ある日の授業で、クレオパトラがいかに美しく、聡明で、勇敢なひとであったかをおもしろおかしく教えてもらい、「お姫様」をもっと知りたいなと思うようになりました。私が想像している「お姫様」は、いつだって煌びやかで華やかで、みんなの中心となるような場所において、天使のような存在です。しかし、深く知ってみると現実とは意外とそうでもなかったみたいです。女同士の激しい嫉妬や嫁姑問題、悪者に仕立て上げられ、薄暗い場所に幽閉されてしまうなんてことも少なくなかったみたいです。そんな裏話を知ると、ちゃんと人間だったのだなあと思えますね。

さて、今回みなさんにおすすめする本は、「お姫様と名建築」という非常におもしろい本です。世界史・日本史も学べるため読んでいて飽きません。挿絵もかわいらしいので、ぜひ手にとって読んでみてください。



読書と庵す、これ自殺なり。

——国木田独歩——

※小説家。『武蔵野』『牛肉と馬鈴薯』等々、名作多数。

“誇る文豪” 田山花袋と大の仲良し。現在も続く『婦人画報』の創刊者でもある。



POP 紹介のコーナー



1年5組 T橋くん紹介!

2年3組 K檜さん紹介!

